

事業計画への追加提案について（委員提案事項）

1. 実施内容の提案

第1回協議会の開催後、今後の事業や社会実験に関し、委員より提案いただいた内容は下表のとおりであった。

・提案の視点：事業での実施内容として、商業的な展開を図ろうとするもの、公園の日常利用やまちづくりに関するもの、基盤整備に関するもの、既存行事の補強など、多様な視点からの提案をいただいた。

・事業への反映：ここでは、まず提案内容の共有を図ることとし、今後の事業の進展に伴い、事業内容として反映できる可能性や方法やタイミング等の検討を進める。

「⑦カフェを作ろう!!」については、今回の社会実験の一つとして実施することを予定している。

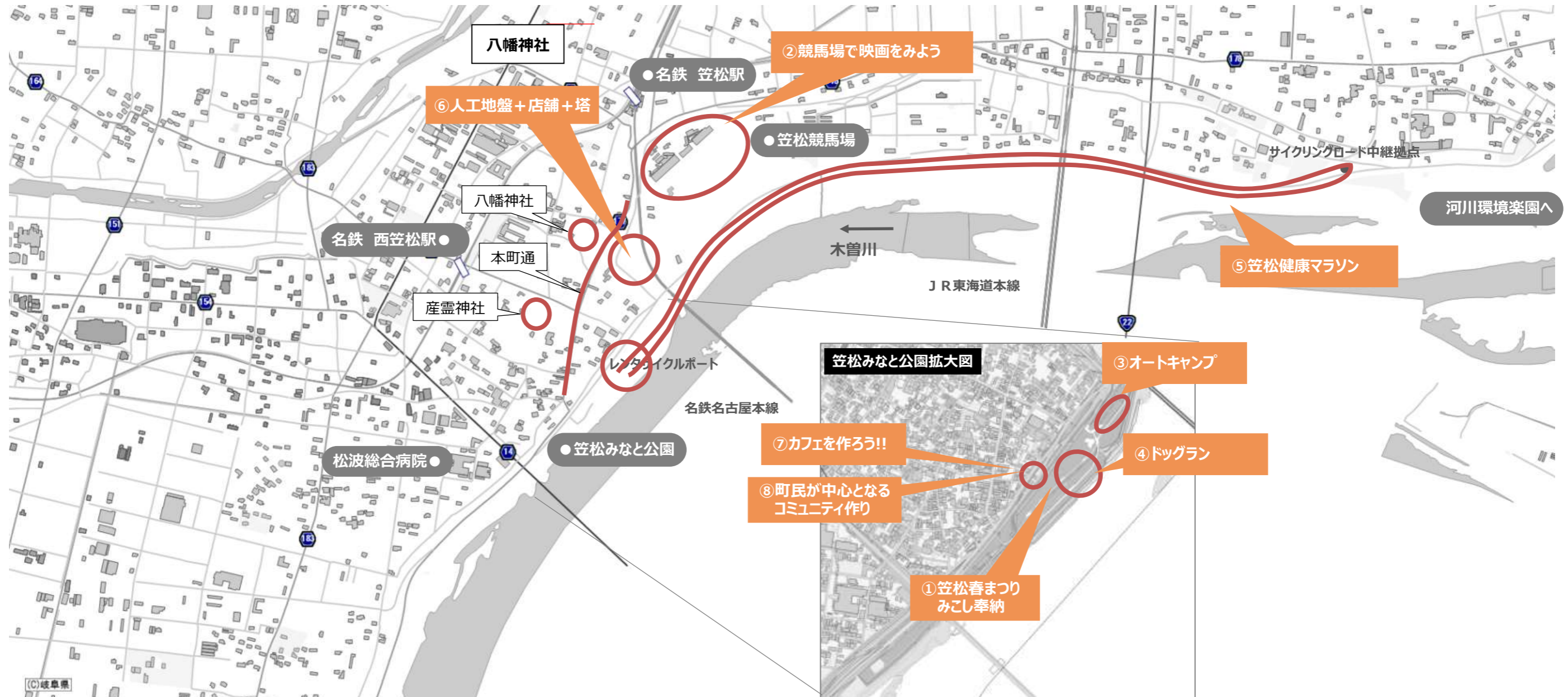
表 今後の事業や社会実験に関する提案内容一覧

内容 区分	①笠松春まつり みこし奉納	②競馬場で映画をみよう	③オートキャンプ	④ドッグラン	⑤笠松健康マラソン 健康のまち かさまつ 防災のまち かさまつ	⑥人工地盤+店舗・塔	⑦カフェを作ろう!!	⑧町民が中心となる コミュニティ作り
提案委員	山田委員	川合委員				塚本委員	柚木委員	
時期	3月下旬～4月中旬	複数回	複数回	-	定期開催（月1回程度）	-	3月～	-
実施場所	笠松みなと公園、本町通り 一帯、産霊神社、八幡神社	笠松競馬場	みなと公園 （駐車場）	-	みなと公園～サイクリングロード（中継拠点） 往復6km	三角地	笠松みなと公園内	-
主な行事 内容等	笠松春まつりでのみこし奉納	競馬場で映画鑑賞	オートキャンプ場として開放 火気利用	-	誰もが気軽に楽しみながら継続的に参加できることを目的とするため、速さ・順位を競うものとし（ただし2時間以内）。可能なら月例、特典付きのポイントカード導入。 みなと公園→サイクリングロード中継拠点間で、どちらもスタート地点とする（下羽栗地区からの参加が容易）。 AED講習受講者2～3人がハートサポートランナーのゼッケンを着けて並走。公園には自転車でAED出動の待機。 出店やホースセラピー、音楽等で盛り上げる。	三角地の駐車場は埋立ではなく、堤防高さにそそえた人工地盤にして、芝生広場と平屋の店舗と3階相当の塔とするのが良い。	行事・イベントではなく、簡易的であるが拠点になるよう、みなと公園に散歩にくる方へ早朝のみカフェスタンドを設置してみる。	-
ねらう効果	-	子育てママにとって子連れでの映画鑑賞はハードルが高いため、“野外”、“換気”、“馬と触れあえる”などの点をアピールして野外映画館の開催を通じ広い世代が訪れる競馬場づくりをねらう。夜のカップル向けのナイター映画もオシャレでインスタ映えをねらう。	アウトドアブームに便乗した集客をねらう。	利用者同士の交流拠点をすることで地域住民のつながり強化をねらう。	体力、おもに脚力強化。地域コミュニティの形成。災害対策の基本は自助で、「自分の命は自分で守る」という備えが必要。また、近隣住民ともに「共助」し、災害発生時のすばい避難行動が求められる。助けられる人から助ける人へ。体力強化は、意識転換を図ることにつながる。	駐車場の確保と奈良津堤の桜を残す事。 名鉄の笠松での写真ポイントを残す事。	今回の社会実験として実施予定	持続可能な運営をしなければ意味がない。 今あるNPOも今後続いていくようコミュニティ作りをする。
課題	-	競馬場の利用許可 映画収集	上下水設備が必要 火を取り扱うため消 化対策	-	運営（ボランティアスタッフ募集）、参加条件（在住・学・勤等の制限の有無）、参加費、開催日（月1回）、町民バスとの連携。 検討会組織メンバーで予行演習をする。 実現可能であるか、問題点の明確化。	人工地盤の施工法と費用、デザイン等。	-	発信力や自発的に行動をおこせる仕組み作りができるかどうか。 既に成功しているコミュニティと笠松町のやりたいことが一致するかどうか。
社会実験の 場合	-	車の混雑具合 映画の音が聞こえるか	-	-	-	-	-	外部の方も巻き込みつつ、笠松町らしいコミュニティ作りをする。 興味を持っていただけるか、持続可能であるか（を確かめる）。
視点	既存行事の補強	商業展開 地域連携	商業展開 公園の日常利用	公園の日常利用	まちづくり 公園の日常利用	商業展開 基盤整備 まちづくり	商業展開 公園の日常利用	まちづくり

※表への整理・記載の段階で、提案の文面等を主旨の変わらない範囲で編集。

2. 実施場所の提案

提案内容の実施場所として想定されるエリア等を下図に示す。



※実施場所は、提案内容に基づき事務局側で想定したものも含まれる。

図 提案内容の想定実施場所